

	学習過程例(探究の過程) 見通しと振り返りの例	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
課題の把握(発見)	自然事象に対する気付き ↓ 課題の設定	●自然事象を観察し、既習の知識や概念を基にして、必要な情報を抽出・整理する技能	●抽出・整理した情報について、それらの関係性(共通点や相違点など)や傾向の見だし ●見出した関係性や傾向からの課題の設定	●主体的に自然事象とかかわり、それらを科学的に探究しようとする態度
課題の探究(追究)	仮説の設定 見通し ↓ 検証計画の立案 ↓ 観察・実験の実施*2 ↓ 結果の処理	●観察・実験を実行する技能 ●観察・実験の結果を処理する技能	●見通しを持ち、検証できる仮説の設定 ●仮説を確かめるための観察・実験の計画の立案 ●観察・実験の計画を評価・選択・決定	
課題の解決	考察・推論 振り返り ↓ 表現・伝達	●観察・実験の結果を分析・解釈して考察したことから得られる知識 ●情報収集等によって得られる知識	●観察・実験の結果を分析・解釈 ●情報収集することによる仮説の妥当性の検討や考察 ●全体を振り返っての推論や、改善策の検討 ●新たな知識やモデル等の創造と次の課題の発見 ●考察・推論したことや結論の発表と、レポート等の作成	
次の探究の過程				

平成28年5月25日
 教育課程部会
 理科ワーキンググループ
 資料1-7

*1 資質・能力の評価は、探究の過程におけるすべての場面で実施する必要はなく、特に育成したい資質・能力に焦点化することが重要である。
 *2 観察・実験が扱えない場合も、調査して論理的に検討を行うなど、探究の過程を経ることが重要であり、あわせて資質・能力の評価が求められる。